

徳東國陸軍裁判所

亞木利加合衆國其他

監

前 木 貞 夫其他

宣 告 供 述 書

供 述 者

姓

氏

名

自分義親ニ於テ行ハルル方式ニ從ヒ先ヅ別紙ノ通り宣告ヲ爲シタル上、  
次ノ如ク供述致シマス

私ハ元海軍少佐デ現在千葉縣夷隅郡千町村牛部實ニ住ンデマシマス 私  
ハ昭和十二年七月（一九三七年）ノ際、義親ノ爲暹州ニ派遣セラレタ第  
二聯隊ノ歩兵連中隊長代理ヲ致シテオリマシタ 暹州ニ七月三十一日午  
前二時半ニ到着シ現地ノ事務ニ從事シ通州ニ於ケル日本人居留民ノ看護  
ノ跡ヲ見マシタノデ左ニ之ヲ陳述致シマス 尙當時撮影シタ寫眞ヲモ燒  
出致シマス

一、私ハ七月三十一日午前八時頃 旅舘錦水橋ニ参リマシタ 錦水橋ノ  
門ニ至ルヤ 變リ果テタ家ノ姿ヲ見テ驚クト共ニ屍体ヨリ發スル臭氣

ニ思ハズニナ氣持ニナリマシタ。玄關ノ扉モ家ノ中ノ障子モ家具モ取  
リ棄サレ門ノ前カラ家ノ奥マデ先達スコトガ出來マシタ  
入口ニ於テ錦水襦ノ女將ヲシキ人ノ屍体ヲ見マシタ。入口ヨリ廊下ニ  
入ルスグノ所デ足ヲ入口ノ方ニ同ケ殆ド裸デ上同キニ癡テ顔タケニ新  
鮮ガ齧ケテアリマシタ

本人ハ相當ニ抵抗シタラシク、身体ノ着物ハ癡タ上デ刺ガサレタ後ニ  
見エ、上半身モ下半身モ暴露シアテコチニ銃劍デ突き刺シタアトガ四  
ツ五ツアツタ後ニ記憶シマス、コレガ致命傷デアツタデセウ

幹部ハ翌朝デエグラレタラシク血痕ガ散見シテ居マシタ。現場ヤ配  
室ノ如キハ足ノ踏ミ込ミ場所モナイ迄散見シ探尋ノ跡ヲマザマザ見セ  
ツケラレマシタ

廊下ノ右側ノ女中部屋ニ女中ラシキ日本婦人ノ四ツノ屍体ガアルヲ見  
マシタ。全部瀕死イテ死ンタ様デシタガ銃殺ノ威力屍体ハ比較的鮮  
デアツテ、所リ重ツテ死ンデ居リマシタガ一名タケハ局部ヲ露出シ  
上同キニナツテ死ンデ居マシタ。

室内ノ散見ハ足ノ踏ミ込ミ場所モナイ迄デアリマシタ。

次ニ劇場館前ニ入リマシタ、ココニ男一人、女二人が横倒レトナリ  
取ハウツブシハ上階イテ死ンデオリココノ屍体ハ強姦セラレタカ否  
カハ知リマセンガ聞ツタ事ハ明瞭デ男ハ目玉ヲクリムカレ上半身ハ膝  
ノ臍ノ際デアリマシタ 女二人ハ何レモ背部カラ銃剣ヲツキサ、レタ  
跡ガ悉然ト出ツテ居リマシタ。

次ニ廊下ヘ入リマシタ 階下庭敷ニ女ノ屍体二ツ、コレハ殆ト身ニ何  
モツケズニ繫ツテ置サレ局部殆メ各部分ニ刺突ノ跡ヲ見マシタ。

次ニ二階ニ於テ五人ノ屍体ヲ発見、コレハ比較的綺麗ニ死ンデオリ  
布ヲカブセテアリマシタ。唯脚ヤ頭ヤ手が露出シテオルヲ見マシ  
タガ布開ラハガス氣ニハナレマセンデシタ。

池ニ於テ二三人ノ屍体ガ浮ンデ居ルヲ望見シマシタガ側へ行ツテ見  
ル餘裕ハアリマセンデシタ。

## 二、市内某カフェーニ於テ、

私ハ一年前ニ行ツタコトノアル「カフェー」へ行キマシタ。扉ヲ開ケ  
テ中ヘ入リマシタガ部室ハ散亂シテオラズコレハ何デモナカツタカト  
思ヒツ、進ンダ時、一ツノ「ボックス」ノ中ニ、素ッ裸ノ女ノ屍体ガ

リマシタ。コレハ蘇デ保護セラレテオリマシタ。

「カフエー」ノ後ニ日本人ノ家ガアリソコニ二人ノ親子ガ惨殺サレテ  
居リマシタ子供ハ手ノ指ヲ痛エテ切斷サレテ居リマシタ

三、路上ノ屍体

南満洲ノ近クニ一日本人ノ商店ガアリソコノ主人ラシキモノガ引ツパ  
リ出サレテ、殺サレタ屍体ガ路上ニ放置サレテアリマシタ。コレハ屍  
体ノ骨ガ露出シ内臓ガ散乱シテ居リマシタ。

リマシタ。コレハ總テ殺セラレテオリマシタ。

「カフエー」ノ藝ニ日本人ノ家ガアリソコニ二人ノ親子ガ慘殺サレテ  
居リマシタ子供ハ手ノ指ヲ齧エテ切斷サレテ居リマシタ

三、船上ノ屍容

南満洲ノ近クニ一日本人ノ商店ガアリソコノ主人ラシキモノガ引ツバ  
リ出サレテ、殺サレタ屍体ガ船上ニ放置サレテアリマシタ。コレハ屍  
体ノ骨ガ露出シ内臓ガ散亂シテ居リマシタ。

宣 告 書

良心ニ従ヒ眞實ヲ述べ何事ヲモ試秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

桂 鉄 雄

昭和二十二年一月二十九日(七) 四月十日 於東京

供証者 桂 鉄 雄

右ハ當立會人ノ証言ニ於テ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明ス

5

於東京

立會人 宮 田 光 雄